

国立曽爾青少年自然の家 バーディ+一般	2013	2014	2015		こくりつそにせいしょうねんしぜんのかえ バーディ+一般	2013	2014	2015	
	9月	9月	9月			9月	9月	9月	
	15-16	14-15	21日	22日		15-16	14-15	21日	22日
	天候 雨	晴曇	曇り	晴れ		てんこう あめ	はれ・くもり	くもり	はれ
4 ヤマドリ					476 オオムシクイ				
5 キジ	○	○			477 メボソムシクイ				
74 キジバト	○	○			479 エゾムシクイ				
78 アオバト					480 センダイムシクイ				
127 カワウ		○			485 メジロ	○	○	○	○
139 ゴイサギ					492 オオヨシキリ				
144 アオサギ					499 セッカ	○	○	○	○
146 ダイサギ					502 ゴジュウカラ		○		
148 コサギ					503 キバシリ				
184 ジュウイチ					506 ムクドリ				
185 ホトギス					508 コムクドリ				
187 ツツドリ					512 カワガラス				
188 カッコウ		○			514 トラツグミ				
192 アマツバメ					542 ノビタキ				○
339 ミサゴ					549 イソヒヨドリ				
340 ハチクマ	○	○			552 エゾビタキ	○		○	○
342 トビ	○	○		○	553 サメビタキ				○
356 オオタカ					554 コサメビタキ	○			
357 サシバ					558 キビタキ				
364 クマタカ					561 オオルリ	○			○
383 カワセミ					569 スズメ				
385 ヤマセミ					573 キセキレイ	○	○		○
390 コゲラ		○	○	○	574 ハクセキレイ			○	
393 アカゲラ					575 セグロセキレイ	○			
397 アオゲラ	○	○		○	587 カワラヒワ	○			
401 チョウゲンボウ		○			602 イカル		○		
412 サンショウクイ	○	○			610 ホオジロ	○	○	○	○
418 サンコウチョウ					614 ホオアカ		○	○	
420 モズ	○	○			32 カルガモ				○
427 カケス	○	○	○	○	358 ノスリ			○	
435 ハシボソガラス					392 オオアカゲラ			○	
436 ハシブトガラス	○	○	○	○	441 コガラ				○
442 ヤマガラ		○		○					
443 ヒガラ		○		○					
445 シジュウカラ		○	○	○					
452 ヒバリ	○	○							
457 ツバメ	○	○	○	○					
459 コシアカツバメ	○	○	○	○	* コジュケイ		○		
461 イワツバメ		○	○	○	* ドバト				
463 ヒヨドリ	○	○	○	○	合計	22	31	18	24
464 ウグイス		○	○	○				28	
465 ヤブサメ									
466 エナガ		○	○	○					

曾爾高原のトンボ科のトンボ



アキアカネ

曾爾高原に多くいるアカトンボはアキアカネです。

このトンボは気温30度を超えると死んでしまうので夏場は高原等に避難しています。

最近地球温暖化で秋でも気温が下がらずなかなか生まれた里の田んぼに帰れません。

近年田んぼの変化もあり極端に数を減らしています。



ナツアカネ

曾爾高原ではほとんど見られませんが

ナツアカネはアキアカネによく似ています。

区別するには捕まえて胸の模様を見ます。

3本ある線の真ん中の模様が平に切れているのが

ナツアカネ、とがって切れているのがアキアカネです。

またオスが顔が赤いのもナツアカネです。



ウスバキトンボ

曾爾高原でも確認されているウスバキトンボです。

このトンボは南方系のトンボで冬を越せません。

ですから冬には全て死滅してしまいます。

毎年沖縄以南の熱帯地方から飛んできます。

アキアカネと逆で地球温暖化で冬を越すことが

できれば大量に数を増やすこととなります。



ノシメトンボ

アカネ属の最大種のノシメトンボです。

移動能力も高く里山から高山まで見られます。

左の写真のようにトンボ科のトンボは主に

体を水平にしてとまります。

ただし、トンボ科のウスバキトンボは写真の通り

ヤンマ科のトンボのようにぶら下がってとまります。